

皆様の声をカタチに

横浜市会議員 さいとこう伸一

少子高齢化に備えて

昨年12月の市会定例会で「少子高齢化に備えたまちづくりに向け、これから何を考えていかなければならぬのか」といった視点から

一般質問を行いました。核家族化が進み、介護や子育てを支えるためには多くの財源が必要となります。希望する人が親子3世代で

暮らせるような仕組みづくりも大切です。地域でも若者から高齢者までが相互に支え合える取り組みが必要である事を訴えました。

行政の「しごと改革」

横浜市では4人の副市長のうち1人が担当していた「子ども青年局」「健康福祉

り組みを目指すものです。こうした中で、地元が抱える「街全体の高齢化」は深刻になりつつあり、高齢者のライフスタイルを中心に据えたインフラ整備（交通ネットワークの構築やバリアフリー化など）は急務といえます。

例えば、山坂の多い保土ヶ谷区におけるバスネットワークは、特に高齢者にとって日常生活で大切なものです。その中で「バスの本数を増やして欲しい」「ウチの近所にもバスを」といった要望を実現するためには、

案などに加え、「住民同士」や『行政間』、そして「住民と行政」の間に入る「コーディネート」の重要性を痛感。諸問題に対して出される貴重な意見を取りまとめ、多くの方が納得できる方向へ進めていきたいと思っています。

現場で見て、現場で聞いて 今後も「まずは生活現場で声を聞く事から」という自身の議員活動における基本スタイルを忘れず、『経済

さいとこう伸一 プロフィール



- ・昭和43年2月4日 横浜市生まれ
- ・産業能率大学 経営情報学部 卒業
- ・日立ソフトウェアエンジニアリング(株)勤務後、衆議院議員上田いさむ秘書を務める。
- ・平成19年4月横浜市会議員2期目当選
- ・横浜市会 子ども青少年教育委員会 副委員長
- ・公明党 横浜市会議員団 政務調査会 事務局長
- ・妻と娘(1歳)の3人暮らし

『たて割り』から『横断的』に少子高齢化対策に取り組めるよう、「まちづくり調整局」を新たに担当。少子高齢化施策とまちづくりとの連携を強化し、包括的な取

り組みを目指すものです。こうした中で、地元が抱える「街全体の高齢化」は深刻になりつつあり、高齢者のライフスタイルを中心に据えたインフラ整備（交通ネットワークの構築やバリアフリー化など）は急務といえます。その中で「バスの本数を増やして欲しい」「ウチの近所にもバスを」といった要望を実現するためには、交通局や道路局さらには周辺住民などからの意見を集約する必要があります。なかなか一筋縄ではいかない面がある事も否めません。そこで議会での様々な提

いきまず、現場で見て、現場で聞いて 今後も「まずは生活現場で声を聞く事から」という自身の議員活動における基本スタイルを忘れず、『経済対策』『社会保障の充実』や『新型インフルエンザ対策』といった各種議論においても皆様の声を最大限力タチにできるような力を注いでいきます。

公明党 横浜市会議員団
保土ヶ谷区 政務調査事務所
代表 斉藤 伸一
保土ヶ谷区弘向町196
TEL045-348-2237 FAX045-334-1777
http://www.shin-shin.com ✉saito@shin-shin.com